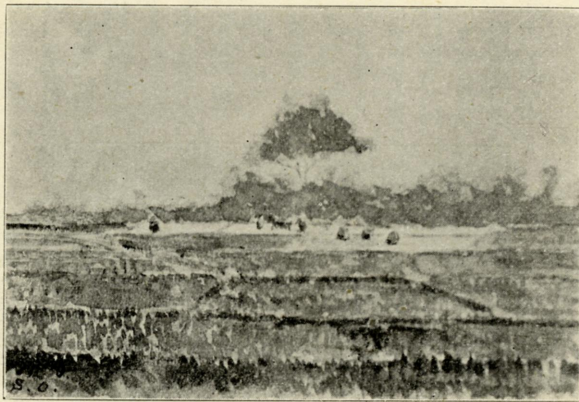


に、これを利用して、フアンハム兵學校の畫學教師の位置を求めたりその位置は實に榮譽あるものにて、給料も卑しからず、人々には畏敬せられつゝありしかども、間もなくその軍隊的の職務の窮屈なるに飽き果つ。かゝる仕事は氏の如き自由を愛し家庭的の趣味を有する人の、



畫 氏 平 三 橋 大 雨 慕 墓

好くする處にあられば、十二ヶ月の終に辭表を呈出し、好んで以前の困難の位置に立歸りぬ。是にて獨立は得たれど生計の資乏しくフアンハムにて給料の幾分を貯蓄しけるも、今は残り少なくなりもて行き、ダルウイッチの家を疊み、門弟にも分るゝに至りぬ。折好くも此時ヒヤフォードの女學校にて畫學教師の入

用として、給料は年百ポンド、時間外には内弟子を取らんも可なりてふ條件附の廣告を見れば、殊に近郊には畫材の豊富なるものから、早速校主と約束を結びぬ。かくて一八一四年の末にヒヤフォードの町外れに風雅なる住家を設け。こゝには十三年間居住しぬ。學校外に内弟子を教ゆるに忙しかりしも、郊外の寫生にも時間を費すことを得たりき。同時にウオーターカラーソサエターにも規則正しく出品しければ、年々の倫敦の參觀人にも、美術界に此の人あるを認められつゝありき。

三浦の浪 (その一)

△△△

この間三浦半島の秋谷といふ處で、朝飯前のスケッチを始めたら、折からの盆休みとて、一杯機嫌の漁師共が黒山のやうに取巻いた。『何處を寫すんだらう』『前へ立つと叱られるぞ』と不相變の御饒舌。『三やおまんまだよ』と遙かにオツカーが子を呼ぶ聲もする。後ろに立つてゐるのだからどんな風體か知らないが、村相撲の大關とても思はれそうな聲の男が、『傍で見るとわかんれゝが離れると舟もある、家もある』といつたら、鹽辛聲の他の男が『寫真といふものはなりたけ細かく寫るのがいいんだ、繪はぞんざいに描いてうんゝなるほどと思はせるのがいいんだ』と。オヤ、おつな事をいふと振返つて見たら、髪の毛のぼう／＼とした色の眞黒な小作りの漁師であつた。